

真田濠さくら育成調査&ミニセミナー

千代田区の花である「桜」の老朽化に伴って、「区の花さくら再生計画」が定められました。上智大学では、こうした地域の課題に千代田区、学生、近隣の方々と共に、真田濠の桜を保護する活動を行っています。毎年満開の桜が咲き続けられるよう、一緒に活動しませんか！調査のあとは、上智大学学内にて桜にまつわるミニセミナーを行います。

どなたでもご参加いただけます。(参加費無料)

10月5日(土)

さくら育成調査

10:00~12:00 (於:真田濠土手)

千代田区、NPO東京樹木医プロジェクト主催による調査・診断を樹木医と一緒にいきます。

動きやすい服装で、9時45分までに上智大学1号館(正門)前へ集合してください。



ミニセミナー「日本近代文学がとらえた桜」

13:00~14:30(於:上智大学2号館509教室)

日本近代文学を研究されている小林幸夫教授が、桜と文学について講義します。

小林 幸夫(こばやし さちお)

上智大学文学部国文学科 教授

作新学院女子短期大学、宇都宮大学を経て

現在上智大学教授。専攻は日本近代文学。

森鷗外、志賀直哉、近・現代短歌を中心に研究。

著書に『認知への想像力・志賀直哉論』『森鷗外論—現象と精神』がある。



※雨天の場合は、さくら育成調査もミニセミナーも翌日に順延となります。(6日も雨天の場合は中止)
お申込みの場合は、公開学習センターにお電話ください。育成調査のみ・ミニセミナーのみの参加も可。

上智大学公開学習センター (担当:横田) TEL:03-3238-3552